

2019年11月7日

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ

マカフィー株式会社

セキュリティ機器運用代行の「マネージド・セキュリティサービス」を強化 ～ 「McAfee MVISION EDR」に対応し、EDR 製品の運用サポート範囲を拡大 ～

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ(本社:神奈川県川崎市、代表取締役社長:土肥 啓介、以下:富士通 SSL)は、マカフィー株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:田中 辰夫、以下:マカフィー)の EDR(注1)製品「McAfee MVISION Endpoint Detection and Response(以下:McAfee MVISION EDR)」の取り扱いを開始すると共に、従来から提供しているセキュリティ機器運用代行サービス「マネージド・セキュリティサービス(MSS)」について、運用サポート対象に「McAfee MVISION EDR」を追加して2019年11月7日から提供します。

「McAfee MVISION EDR」は、AIを利用してリスクを調査し、高度な脅威を未然に防ぐ EDR 製品です。セキュリティインシデント発生の検知を行い、インシデントが発生した際には分析・対応を迅速に支援する機能を有します。また、クラウド管理型のため、お客様環境にサーバーを設置することなく手軽に導入いただけます。

「マネージド・セキュリティサービス」は、2014年11月に提供開始して以来、多種多様なマルチベンダー機器の運用・監視を日本国内をはじめグローバルに展開してきました。今回、新たに「McAfee MVISION EDR」に対応したことで、今まで以上に、幅広いお客様のセキュリティ課題や環境に対応したサービスを提供していきます。

近年、サイバー攻撃の複雑化・巧妙化に伴い、エンドポイントセキュリティには高度な攻撃を検知し、分析や対応を支援する EDR 機能を備えた製品の活用が必要となっています。しかし、常時監視ができる専門性の高いセキュリティ要員の組織内での確保は、人材不足の常態化やコスト面などから困難な場合が多く、これら製品の活用にはプロフェッショナルによる運用監視サービスの利用が適しています。

富士通 SSL は、従来から提供している「マネージド・セキュリティサービス」の運用サポート対象にマカフィーの EDR 製品「McAfee MVISION EDR」を加えることで、同製品のセキュリティアラートを24時間365日監視し、検知したインシデントのリスクレベルや対応の必要性を分析して危険度が高い事象が発生した場合のお客様への通知や、重大インシデント発生時の該当端末のネットワーク遮断などを迅速、確実に実施します。

今後も富士通 SSL は、マカフィーと連携し、お客様の様々な課題や幅広い環境に柔軟に対応するため、サポート対象製品を「マネージド・セキュリティサービス」に順次追加、拡充することで、より多くのお客様へ安心安全を提供していきます。

【「マネージド・セキュリティサービス(MSS)」について】

セキュリティ技術者が 24 時間 365 日、次世代ファイアウォール、WAF、サンドボックス型マルウェア対策機器、IPS/IDS などお客様の各種セキュリティ製品が出力するアラートの監視、分析を行います。また、攻撃検出時に通報だけを行うセキュリティ監視サービスとは異なり、セキュリティ機器にルールやシグネチャーを追加するなどのチューニングを行い、お客様のセキュリティリスク低減を図ります。

【MSSにおける「McAfee MVISION EDR」運用監視の特長】

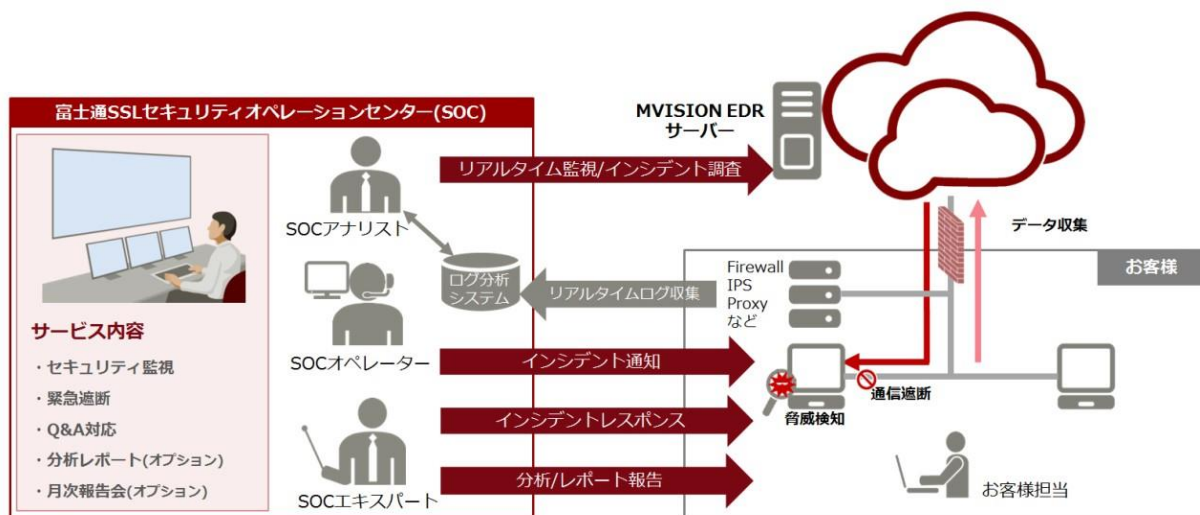
1. 24 時間 365 日リアルタイムで監視、お客様の運用負荷を軽減します

お客様の「McAfee MVISION EDR」を 24 時間 365 日リアルタイムで監視し、検知されたセキュリティイベントを高度な技術を有する SOC(注 2)アナリストが分析を行い、緊急度を判断、緊急度に応じた対応を行います。

セキュリティイベントの分析など専門的なスキルが求められる運用を富士通 SSL の SOC にアウトソースすることで、お客様の運用負荷軽減を実現します。

2. 緊急時は遮断対処や他端末への影響調査を実施、セキュアな環境の維持をサポートします

緊急度の高いセキュリティイベントを検知した場合は、緊急対処としてお客様に代わって端末をネットワークから遮断します。また、該当端末から外部の攻撃サーバーへの通信がないか、他端末への横展開通信がないかなど、標的型攻撃でよく見られる攻撃手法を中心に影響調査を実施し、報告します。



MSS の「McAfee MVISION EDR」運用監視イメージ

【販売価格】 個別見積り

【販売開始日】 2019年11月7日

【販売目標】 2021年度末までに 20社

【関連 Web サイト】

「マネージド・セキュリティサービス」

<https://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/solutions/mss/>

「McAfee MVISION Endpoint Detection and Response」

<https://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/products/mcafee-mvision/mvision-edr/>

【注釈】

(注1)EDR(Endpoint Detection and Response)

エンドポイントの脅威を検知し、迅速な対応を支援すること。

(注2)SOC(Security Operation Center)

セキュリティ製品・ネットワーク機器・サーバーなどのログを監視・分析し、サイバー攻撃の検知・通知や対応策の支援を行う組織。

【株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリについて】URL:<https://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/>

当社は富士通グループの一員として、ソフトウェア開発／システム構築を中心に事業を展開してきました。現在、それらの実績と先進技術をもとにソリューション群「PoweredSolution(パワード・ソリューション)」として、「DX Co-Creation」、「Customer Experience」、「Data Management」、「DX Platform」、「Security」の5つのカテゴリに体系化し、お客様の企業価値向上をご支援しています。また、「オープンイノベーションHUB」として数多くの大学や先進企業と共創活動を行ってきた実績を活かし、お客様と共にイノベーションの創出に取り組んでいます。

【マカフィー株式会社について】URL:<http://www.mcafee.com/jp/>

マカフィーは世界最大規模の独立系サイバーセキュリティ企業です。業界、製品、組織、そして個人の垣根を超えて共に力を合わせることで実現する、より安全な世界を目指し、企業そして個人向けのセキュリティソリューションを提供しています。詳細はマカフィーのWebサイトをご覧ください。

【商標について】

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

以上

《報道関係者お問い合わせ先》

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ
広報室
電話:044-739-1520
E-mail:ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com

《製品・サービスお問い合わせ先》

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ
商品お問合せ窓口
E-mail:ssl-info@cs.jp.fujitsu.com

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ(富士通 SSL)
〒211-0063 川崎市中原区小杉町 1-403 武蔵小杉タワープレイス